

23 年度予算編成に対する要望書

重点要望書

公明党岡山市議団

<総務委員会>

- 1、岡山市の基幹業務システムの最適化と見直しを図り、市民サービスの向上、行政事務の効率化および行政経費の削減に取り組みます。
- 2、入札に不良不適格業者対策の強化を図るとともに入札ミス未然防止対策に取り組みます。
- 3、24時間365日救急患者を受け入れるER型救急医療機関の設置と保健・医療・福祉の連携機能を統合した（仮称）岡山総合医療センターの整備をすすめます。
- 4、DV被害者を一時保護する民間シェルターへの財政的支援を強化するため、基金を創設し、DV被害者保護への体制整備を図ります。
- 5、DV被害者を保護し自立を支援する民間シェルターへの財政支援強化と自立支援のための施設整備・体制確立を「住民生活に光を注ぐ交付金」を使って大幅に拡充すること。仁愛館の改修と指定管理により、自立支援センターを目指すこと。
- 6、後楽園、岡山城を中心にした岡山の歴史、文化の拠点となるカルチャーゾーンの整備を推進します。
- 7、ゲリラ的集中豪雨から地域住民の生活を守るため、ハザードマップの抜本的な見直し、雨水貯留浸透事業の推進、急傾斜地居住対策の取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。
- 8、過疎地域の自立促進計画を実施すること。

<保健福祉委員会>

（一人暮らし高齢者等への支援）

- 9、地域支援包括センターと安全安心ネットワークなどとの連携を強化し、地域全体で高齢者を支えるネットワークを強化すること。
- 10、人感センター等による安否確認や食料品などの宅配業務などICT(情報通信技術)を活用し、見守り・外出・買い物等の生活支援サービスを充実すること。
- 11、地域における居場所づくりとして公共施設での交流を推進し、生活関連情報など提供体制を強化すること。
- 12、市民後見人の育成等を通じた成年後見制度の更なる利用・促進を図ること。

（うつ対策）

- 13、「認知行動療法」を身近な地域で診療と支援が受けられる体制の整備や専門家（精神科医、心理職）の養成を国や県に要望し、「認知行動療法」の情報提供を行うこと。
- 14、病院への通院に困難を抱えている方や、未治療の方などに対し、アウトリサーチ（訪問支援）により、医療・保健・福祉サービスを包括的に提供し、きめ細やかな支援を行うための体制を確立すること。
- 15、うつ病の早期発見・早期治療を図るため、かかりつけ医等のうつ病に対する対応力を向上させるための研修事業の対象の拡大と研修内容の充実を図ること。

16、「地域障害者職業センター」においてうつ病患者の職場復帰支援を行うカウンセラーを設置すること。

(児童虐待防止対策)

17、「児童虐待防止緊急強化基金」を都道府県に創設し、こども総合相談所、市のサポート体制の強化のため、児童福祉司等の追加緊急配置に対して助成を行い、地域における児童虐待防止体制の強化を図ること。

18、早期発見の通報体制を高めるため、こども総合相談所の共通番号を現在の10桁から「110番」や「#8000番」など覚えやすい番号に改善し、通報の受け入れ体制を強化すること。

19、子育てなどの不安に対する相談体制や児童の安全確認のための「家庭訪問つき相談支援事業」を強化すること。

20、保留児を解消するため保育園の定員増加と保育園の整備を推進すること。

21、子宮頸がんワクチン、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンの予防接種費用に公費助成を行うこと。

22、がん予防対策を強化するためがん検診の受診率の向上を図り学校教育の中でがん教育を推進すること。

23、「介護支援ボランティアシステム」の普及、お天気ポイント制度を創設すること。

24、民生・児童委員の確保を支援し、待遇改善を進めること。

25、聴覚障害者に対する専門機能を持った特別養護老人ホームを整備すること。

26、手話通訳者や要約筆記者の要請事業を拡充すること。

27、鍼灸マッサージの無資格対策を進めること。

28、マッサージ券のPR等、事業普及に努めること。

29、脳梗塞・心筋梗塞の予防対策を進めること。

30、発達障害児（者）への支援策を推進すること。

<経済委員会>

31、地元雇用を創出する企業誘致を推進すること。

32、集客性を持ったコンベンション・観光事業に予算措置を行い、積極的な事業を展開すること。

33、安全・安心な農作物が市民に提供されるよう各種施策に取り組むこと。

34、岡山市の米を積極的にPRするとともに、米粉製品の普及等を通じて、米の消費拡大につなげること。

35、水稻の高温化障害の原因究明と次年度対策の実施、農家に対する緊急融資ならびに利子補給制度の創設をすること。

36、子どもたちが、農作物体験を通じて食料や農業に関する理解を深めるため、学童農業体験など、食農教育を推進すること。

- 37、農作物への鳥獣被害を防止するための対策を強化すること。
- 38、老朽化が進む農業施設に対し、適切な維持管理と修繕・更新を計画的・継続的に実施するための財源を確保し、長寿命化を図る対策を推進すること。

<建設委員会>

- 39、都市交通戦略の柱である公共交通の重要性を市民に広く周知を図るとともに、地域住民の足の確保に向けた取り組みを実施すること。
- 40、都市交通戦略で位置づけた自転車利用の促進を目指し、自転車先進都市のイメージを定着させるためにも、レンタサイクルの活用や自転車通行帯の設置などを推進すること。
- 41、ASPOの施設について、市民が負担することなく撤去をさせること。
- 42、ビジョン「水と緑の都市プロジェクト」で示されている公園・緑地の貴重な資源を生かし、魅力あふれる中心市街地の形成に努めること。
- 43、地域の公園・緑地の配置について、不足している地域の解消に努めること。
- 44、一括交付金の創設に伴い道路整備の財源の不足が心配されるが、外環状線等の基幹と道路の整備については、計画が遅れないように実施すること。
- 45、突然の失業や生活困窮等による住宅喪失者に対する一時的な住宅として（仮称）セーフティネット住宅を市営住宅の空き家等で整備します。
- 46、高齢者の居住の安定確保に向けて、高齢者向け有料賃貸住宅の供給促進を推進するための補助制度の創設をすること。
- 47、若者世帯が、住みやすく子育てしやすい市民住宅の推進を図ること。

<市民文教委員会>

- 48、窓口のワンストップ化や土日・夜間のサービスなど身近で便利な市民サービスに努めること。
- 49、競技から生涯スポーツまで、市民がスポーツに親しむための環境整備の充実に取り組むこと。
- 50、市民の墓地・納骨の希望に対応した納骨堂の整備を進めること。
- 51、町内会の負担に馴染まない通学路など、市民の安全には留意をした防犯灯設置を推進すること。
- 52、放課後子どもプランを小学校6年生まで拡充すること。
- 53、義務教育の9年間を通じたカリキュラムを策定し、小中一貫教育の導入を進めること。
- 54、学校へのエアコンの設置や校庭・園庭の芝生化を進めること。
- 55、学校給食を原則米飯にすること。
- 56、私立幼稚園の就園奨励補助金を国基準に見直しをすること。
- 57、学校飼育動物サポート事業を実施すること。

<環境消防水道委員会>

- 58、水道の耐震化を計画的かつ早急に図ること。
- 59、消防・救急体制を国基準に合わせて整備すること。合併による広域化に対処するため消防ヘリ・ドクターヘリも活用した消防・救急搬送体制を確立すること。
- 60、自然エネルギーの普及拡大を図り、太陽光発電、バイオマスなどの産業化を推進すること。
- 61、メガソーラー基地を設置し、「晴れの国岡山」の象徴とすること。
- 62、岡山市危機管理指針と岡山市防災計画に住民の心構えと行動、地域住民の相互の助け合い体制をいれるとともに、周知徹底を図り、訓練を実施すること。